

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成30年11月7日
【事業年度】	第55期（自平成29年4月1日至平成30年3月31日）
【会社名】	ホクト株式会社
【英訳名】	HOKUTO CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 水野 雅義
【本店の所在の場所】	長野県長野市南堀138番地1
【電話番号】	026(243)3111(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 高藤 富夫
【最寄りの連絡場所】	長野県長野市南堀138番地1
【電話番号】	026(259)5955
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 高藤 富夫
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成30年6月22日に提出いたしました第55期（自平成29年4月1日 至平成30年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

注記事項

(セグメント関係)

セグメント情報

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第5【経理の状況】

1【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

【注記事項】

(セグメント関係)

【セグメント情報】

(訂正前)

(省略)

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
 前連結会計年度(自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	連結 財務諸表 計上額 (注)2
	国内きのこ事 業	海外きのこ事 業	加工品事業	化成品事業			
売上高							
(1) 外部顧客への売上 高	42,296	4,512	7,064	9,245	63,119	-	63,119
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	9	-	-	1,026	1,036	1,036	-
計	42,305	4,512	7,064	10,272	64,155	1,036	63,119
セグメント利益又は損失 ()	4,365	178	736	58	5,222	1,792	3,430
セグメント資産	71,038	11,665	4,407	7,627	94,738	-	94,738
セグメント負債	35,231	3,157	1,493	3,118	43,001	-	43,001
その他の項目							
減価償却費	4,949	846	84	310	6,191	-	6,191
のれんの償却額	-	-	129	-	129	-	129
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	10,357	192	98	3,750	14,398	-	14,398

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額 1,792百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用 1,809百万円およびセグメント間取引消去17百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自平成29年4月1日 至平成30年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	国内きのこ事 業	海外きのこ事 業	加工品事業	化成品事業			
売上高							
（1）外部顧客への売上 高	44,664	4,790	7,463	9,989	66,907	-	66,907
（2）セグメント間の内 部売上高又は振替 高	10	-	-	534	544	544	-
計	44,674	4,790	7,463	10,523	67,451	544	66,907
セグメント利益又は損失 ()	4,289	319	621	235	4,994	1,812	3,181
セグメント資産	74,302	10,822	4,846	8,464	98,436	2,119	100,556
セグメント負債	41,055	1,704	1,824	3,471	48,055	-	48,055
その他の項目							
減価償却費	5,230	829	85	461	6,606	62	6,668
のれんの償却額	-	-	129	-	129	-	129
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	5,057	277	196	1,066	6,597	1,186	7,784

（注）1．調整額は以下のとおりであります。

- （1）セグメント利益又は損失の調整額 1,812百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用 1,878百万円およびセグメント間取引消去65百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - （2）セグメント資産の調整額2,119百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産の主なものは、管理部門に係る資産等であります。
 - （3）その他の項目の調整額1,249百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の増加額とその減価償却費であります。全社資産の増加額の主なものは、セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る資産等であります。
- 2．セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

(省略)

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	国内きのご事 業	海外きのご事 業	加工品事業	化成品事業			
売上高							
(1) 外部顧客への売上 高	42,296	4,512	7,064	9,245	63,119	-	63,119
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	9	-	-	1,026	1,036	1,036	-
計	42,305	4,512	7,064	10,272	64,155	1,036	63,119
セグメント利益又は損失 ()	<u>4,980</u>	<u>38</u>	<u>376</u>	58	<u>5,259</u>	<u>1,829</u>	3,430
セグメント資産	71,038	11,665	4,407	7,627	94,738	-	94,738
セグメント負債	35,231	3,157	1,493	3,118	43,001	-	43,001
その他の項目							
減価償却費	4,949	846	84	310	6,191	-	6,191
のれんの償却額	-	-	129	-	129	-	129
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	10,357	192	98	3,750	14,398	-	14,398

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 1,829百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用 1,809百万円およびセグメント間取引消去 19百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自平成29年4月1日 至平成30年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	国内きのこ事 業	海外きのこ事 業	加工品事業	化成品事業			
売上高							
（1）外部顧客への売上 高	44,664	4,790	7,463	9,989	66,907	-	66,907
（2）セグメント間の内 部売上高又は振替 高	10	-	-	534	544	544	-
計	44,674	4,790	7,463	10,523	67,451	544	66,907
セグメント利益又は損失 ()	4,861	119	297	235	5,043	1,861	3,181
セグメント資産	74,302	10,822	4,846	8,464	98,436	2,119	100,556
セグメント負債	41,055	1,704	1,824	3,471	48,055	-	48,055
その他の項目							
減価償却費	5,230	829	85	461	6,606	62	6,668
のれんの償却額	-	-	129	-	129	-	129
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	5,057	277	196	1,066	6,597	1,186	7,784

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額 1,861百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用 1,878百万円およびセグメント間取引消去17百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額2,119百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産の主なものは、管理部門に係る資産等であります。
 - (3) その他の項目の調整額1,249百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の増加額とその減価償却費であります。全社資産の増加額の主なものは、セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る資産等であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。